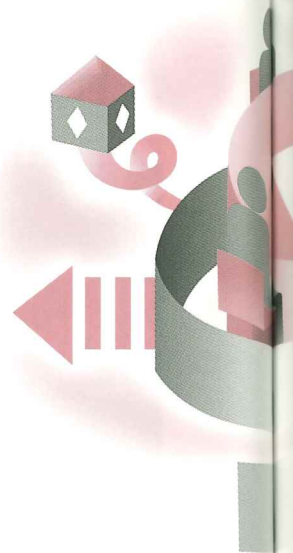


# 元暴力団員の息子と母親の 二人暮らし家庭に対する 援助方針を考える



## 事例提出者

Bさん (社会福祉協議会・福祉活動専門員)

## 事例の概要

### クライアント

Eさん 女性、78歳

Yさん 長男、54歳

### ・生活歴

Yさんは元暴力団員。16歳の時に板前になったが、20歳で組員となる。10年ほど前に足を洗っている。結婚して女の子を2人もうけたが、20年前に離婚。子どもは2人ともYさんが引き取った。現在は2人とも結婚して比較的近隣に住んでいる。

### ・生活状況

公営住宅に2人暮らし。Eさんの年金で生活しており、Yさんは忙しいときだけ板前の助っ人として声がかかる。

### ・光熱水費

遅れながら払っている。

### ・借金

家賃の滞納 (約200万円)。毎月の家賃は1万

9000円。

銀行に、12~13年ほど前に亡くなった夫の借金がある。年金入金時に5万円ずつ返済し、もうすぐ終わる。

### ・相談経路

平成13年2月8日

EさんとYさん2人で来所。昨日、裁判所と役所の職員2名が来た。「立ち退いてもらいたい」という内容だった。板前の仕事は週末にスキー場の手伝いが入っているが、まとまったお金もなく引っ越せないという事情を説明した。役所の職員から、お金がないのだったら貸してくれるところがあるから相談してみてもどうかと紹介されたので来てみた。立ち退きは2週間後まで待ってもらえることになった。

### ・相談時の逐語録

Y 実は、家賃滞納で立ち退きを迫られている。

B いくら滞納しているんですか。

Y (母親 (Eさん) の顔を見る)

E 200万円くらいです。

B これまで何度か催促があったでしょう。

Y 私は最近このことを知りました。



スーパーヴァイザー・奥川幸子氏を招いて開かれた事例検討会の模様を紹介します。(検討会及び事例の内容は、誌面の都合上、全体の趣旨に差し支えない範囲で変更させていただきました)

B なんでYさんは知らなかったのですか。

Y 私は板前をしており、仕事のあるときは住み込みで働きに出てしまいますので、わからなかった。母は全然何も言わなかった。

B なぜYさんに知らせなかったのですか。

E (黙っている)

B 板前の仕事はいつからしているのですか。

Y 3年ぐらい前からです。

B その前は何をしていたのですか。

Y その前は、(ジェスチャーをしながら) ヤクザです。刑務所に出たり入ったりしていました。母も高齢だし、迷惑もかけられないのでカタギになろうと思い、やめました。両手の小指がなく、刺青もあるので、仕事を探すハンデもあるため板前ぐらいしかない。

B 勤め先はどこですか。

Y 決まってないです。忙しいときに声がかかって働きに行く。今年は雪が多いので、スキー場の手伝いが週末に入ります。

B 仕事の連絡はどこから来るのですか。何か登録しているのですか。

Y 親方がいます。そのつながりで会に入って

おり、そこから仕事 comes。

B 1日どのくらいになりますか。

Y 1万5000円になります。

B その他の収入はないですか。Eさんの年金は。

E 遺族年金と国民年金があります。2カ月で18万円ほどです。

Y おやじの借金が死んだ後に出てきた。(Eさんの顔を見ながら) 銀行から通知が来てわかった。

B それはいくらぐらいですか。

(2人とも黙っている)

B いくら返済しているんですか。

Y いくらだ。

E 遺族年金から5万引かれている。

Y もうすぐ終わる。

E 今年の6月。

B その他にはないですか。

Y ない。

B 公共料金、電気・ガス・水道代の滞納はないですか。

Y 遅れているが払っている。

B 止められる状況ではないですね。

Y (うなずく)

B 引越し先は決めましたか。

Y 今のところの近くにしたと思う。遠くに引越すと運送代も高くなる。不動産屋に相談しているが、家賃は3万~3万5000円くらいになる。敷金、礼金、前家賃などで4、5カ月分は必要になると思う。

B ほかに誰か相談できる人はいないですか。

Y 相談できるのは、前の付き合いになってしまふ。でも、カタギになったので、いまさら相談できないし、相談したくない。母も高齢なので、住むところだけでも何とかしたい。自分は住み込みでもなんでもできる。何とかお金を貸してもらえないか。

B お金の貸し借りになるので、保証人や返済計画はどうしますか。

Y 保証人は、娘にする。

B 娘さんは何をしていますか。お勤めですか。

Y 勤めている。

B どこにお住まいですか。

Y 近くに住んでいる。

B 年齢は。

Y (少し考えて) 32歳。

B 家族構成は。

Y 夫と子どもが4人。

B 旦那さんは何をしていますか。

Y トラック運転手。

B 娘さんから少し援助してもらえないですか。

E 子どもが4人いるから無理だ。

B じゃ、娘さんにお話ししてみてください。

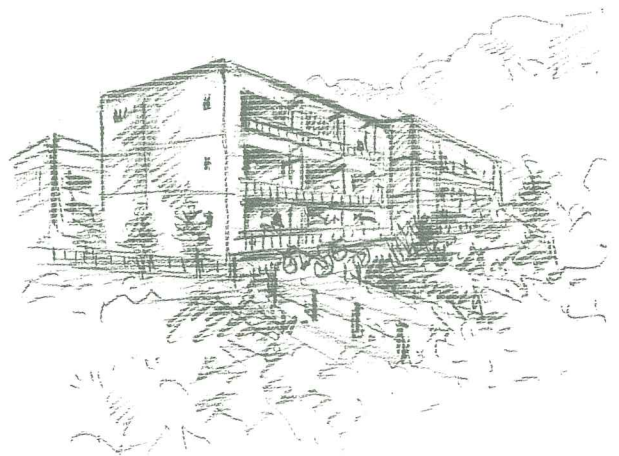
Y 何か手続きがあるんですか。

B 申請書があります。引越しの場合、引越し先の見当をつけて、費用がどの程度かかるのか不動産屋の見積もりをもらってください。それと、家財道具をどうやって運ぶのか。運送会社に頼むのであれば、運送会社の見積もりが必要になりますので、それももらってください。その見積書ができてから申請手続きに入りたいと思います。

Y わかりました。どうかお願いします。

平成13年2月18日

Yさん、Eさん2人で、不動産屋と運送会社の見積書を持って来所。目を通すと、前回言っていたとおり近所に引越すようで、特に不明なところはなかった。返済は、6月に父親の借金返済が終わるので、その後年金から返したいとのこと。保証人として長女と親方の2人になってもらえるよう相談してもらったこととした。





## ケース検討会

**奥川** 今、Bさんがいちばん気になっていることは何ですか。

**Bさん** この2人をセットとして考えていくべきなのか、あるいはYさんは板前として住み込みで働ける方のように思えるので、そうしてもらったほうがいいのか判断できないでいます。仮にYさんが家を出てしまうと、Eさんは78歳の高齢で単身世帯になってしまいますので、何かと心配な点が多くなると思います。そのあたりをどう判断すべきなのかがわからないというのが、いちばん引かかっていることです。

**奥川** わかりました。では、まず最初にBさんの仕事の内容について少しやりとりをしましょうか。皆さん、社協の生活福祉資金については、よくご存知ですか。

**発言** すみません。ふだんあまりなじみがないので、制度の概要について教えてください。

**Bさん** はい。生活福祉資金は、全国統一で同じ考え方で貸付けを行っています。利用できる世帯の条件としては4つあります。①生活保護世帯、②低所得世帯（生活保護基準の1.7倍程度の収入まで）、③障害者手帳をもっている方、④65歳以上で常時介護を要する方がいらっしゃるご家庭、の4つです。初期の面接段階でこれらの条件に該当するかどうかを判断させていただきます。

そのほか、申請のためには地域の民生委員さんの意見書も必要になりますので、民生委員さんとの面接を受けていただきます。それらを全

部整えた上で、市町村社協で内部決済をし、県社協の判断を仰ぐという形になります。

**発言** 貸付けの限度額はありますか。

**Bさん** 今回のケースのような転宅費用ですと、限度額は26万円ぐらいになります。

**発言** 利息はつくのですか。

**Bさん** 年3%です。

**奥川** 制度の概要についてはよろしいですか。では、このクライアントについて、現在の状況をより明らかにするために、Bさんから情報を引き出してみてください。

**発言** このお二人が一緒に暮らし始めたのは何年ぐらい前からですか。

**Bさん** ヤクザから足を洗ったのは10年ほど前のことなので、その頃からだと思います。

**発言** Yさんにはきょうだいはいないのですか。

**Bさん** いません。ひとり息子です。

**発言** 亡くなったEさんのご主人の職業はわかりますか。

**Bさん** それは聞いていません。

**奥川** Eさんは遺族年金をもらっていますね。額はいくらでしたっけ。

**Bさん** 6万円ぐらいだそうです。

**奥川** 妻は半分ですから、12万円ですか。そうすると、国民年金ではありませんね。亡くなったご主人は勤め人だったようですね。

**発言** いくつで亡くなったのですか。

**Bさん** 年齢は聞いていませんでした。

**発言** Yさんのお子さんは二人とも結婚されているのですか。

**Bさん** はい。

発言 子どもは？

Bさん 長女は4人います。次女は子どもはいません。

発言 長女のお子さんの年齢はいくつくらいですか。

Bさん 中学校に行っている子もいるようです。

発言 長女は32歳ということですが、そうするとかなり若いときに結婚していますね。

Bさん そうなりますね。

発言 長女と次女はともにEさんたちの家の近くにお住まいということですが、Yさん、Eさんとの交流はどのくらいあるのですか。

Bさん 最初の面接のときには、長女は働いているという話だったのですが、保証人の話をしたに行ったときに、もう働いていないということがわかったようです。そういう話を聞くと、ふ

だんはあまり交流していないのではないかと思います。

発言 Yさんが離婚したときに長女と次女を引き取ったということですが、Yさんが刑務所を出たり入ったりしている間、誰がお子さんたちの面倒を見ていたのですか。

Bさん Eさんです。

奥川 Eさんが親代わりに育ててきたんですね。ここで、これまでにわかった情報を少し整理してみましょう。

・ジェノグラムと年表をボードに書き出す。

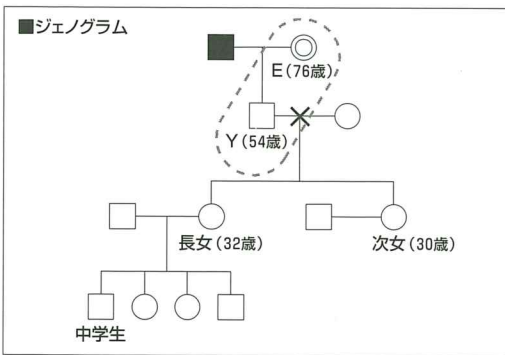
奥川 こうして見てみると、父親の死亡と長女の結婚と相前後してYさんはヤクザの世界から足を洗っていることがわかりますね。

Bさん 家賃の滞納もその頃から始まったのかもしれない。

奥川 その要因としては、どんなことが考えられますか。

Bさん 父親が亡くなる前に入院や介護が必要になったとしたら、その費用が必要になります。

発言 長女の結婚資金も必要だったのではない



■年表

1963	1967	1969	1971	1979	1988~90年頃	2001
Y、板前になる (16歳)	Y、暴力団に入る (20歳)	長女出生	次女出生	離婚 E 56歳 Y 32歳 長女 10歳 次女 8歳	育ての親 Eの夫、死亡 長女の結婚 借金始まる？ Y、暴力団やめる	E 78歳 Y 54歳 長女 32歳 次女 30歳
板前		暴力団員(刑務所に出たり入ったり)				カタギ

でしょうか。

**奥川** いろいろと出費が重なることが考えられますね。父親が亡くなる前は、Yさんはまだ足を洗っていませんので、おそらく父親が生計中心者だったのでしょう。

**Bさん** その生計中心者が亡くなって、歯車が狂ってきた。それで息子が足を洗った……。

**奥川** まだ決めつけてはいけません、時期的に考えれば、そういう推測は成り立ちますね。もしそうだとしたら？

**Bさん** Yさんは家のことをきちんと考えられる——。

**奥川** では、そこをどう確認するか。どうしますか。

**Bさん** 本人に聞く。

**奥川** この場合は、孫の親代わりだったEさんに「お孫さんは早くに結婚されたんですね」と聞けば、そのときの様子を話してもらえないでしょうか。そうすると、Yさんが足を洗ったのが長女の結婚の前なのか後なのかかわかりますし、そこからYさんの決意の堅さというものも見えてきますよね。

**Bさん** はい。

## 援助の方向性を定めるために

### 必要な情報とは

**奥川** ここまでのやりとりで、この家族の置かれている状況がなんとなく見えてきましたね。ここで、今日のテーマについて考えてみましょう。Bさん、もう一度おっしゃっていただけますか。

**Bさん** はい。この親子をセットと考えて援助をしていくべきなのか、それとも、Yさんには住みこみで働く力がありそうなので、その方向で援助をすればいいのか判断できないでいます。

**奥川** そこを見極めるためには、どんな情報をお二人から引き出す必要があるか。そこを考えてみましょう。皆さん、お隣同士で少し話し合ってみてください。

・隣同士で話し合う。

**奥川** いかがですか。発表してみてください。

**発言** まず、Yさんとお母さんのそれぞれに、今の生活をどう思っているのかを聞く必要があると思います。

**発言** お母さんについては、今の自分の身体の状態についてどう認識されているかも確認する必要があると思います。

**発言** それと、お二人がそれぞれ今後の生活についてどんな希望をもっているかも聞かなければならないでしょう。

**発言** Yさん自身の就労に対する希望もうかがう必要があるんじゃないでしょうか。

**発言** 私は、Yさんの家族観も知りたいと思います。この方はヤクザをしているときに離婚していますが、2人の娘さんを自分で引き取っています。そこに何か事情があったのか、あるいは家族というものについて、Yさんなりの考え方があるのか。

**奥川** 今はお母さんと同居していますしね。

**発言** ええ。家族のなかで自分がどういうポジ



ションを占めれば良いと考えているのか——。

**奥川** 現在と今後の生活についてお二人がどう考えているのか。Yさんの家族観はどのようなものなのか。だいたい出てきました。ほかにはどうですか？

**発言** 過去のことについてはうかがう必要はないでしょうか。

**奥川** そこは大事な点ですね。〈<sup>いま</sup>現在〉をきっちりアセスメントするためには、このお二人がどんな過去を過ごしてきたのかを知ることが大切です。どんなことを知る必要がありますか。

**発言** なぜ、ヤクザの世界に入ったのか。

**奥川** せっかく板前になったのに、なぜ、という部分ですね。大事な情報です。

**発言** 小指を2本落としている点について、何があったのかを知ること大切ではないでしょうか。

**発言** 組員だった頃の生活を、今どう思っているのかも聞きたいですね。

**発言** 足を洗った理由も知りたいです。

**奥川** みんな大切な情報です。ほかにはどうですか。

**会場** ……。

**奥川** Yさんは何度か刑務所に入っているようですが、何をして入っていたのですか。

**Bさん** それは聞いていません。

**奥川** どんな前科なのか。それを知ることによって、Yさんの組のなかでの位置や役割を知ることができますよね。下っ端だったのか、幹部クラスだったのか。

それと、足を洗ってから現在までの生活がま

だ空白ですね。この間、Yさんはどうやって暮らしていたのか。その点はどうですか。

**Bさん** そこも聞いていません。

**発言** 板前以外の仕事をしたことはあるのでしょうか。

**奥川** それも大事な情報です。足を洗った後、



いろいろなことにチャレンジして挫折したのか、それとも最初からあきらめて、母親の年金を頼りにしているような生活をしているのか。これは大きな違いですよ。

**Bさん** はい、たしかに。

**奥川** 皆さんが先ほど出してくださったように、Bさんの今の引っかけを解くためには、お二人に現在の生活をどう考えているのか、そして将来どんなふうに住らしたいと思っているのかを聞くことが大切です。

さらに、現在のYさんが仕事に就けるだけの力を持っているのかどうかを判断するためには、過去を見る必要があります。16歳で板前になったとき、何を目標していたのか。その後、なぜ組に入ったのか。組では何をしていたのか。どんな理由で刑務所に入ったのか。足を洗ったきっかけは何か。足を洗った後、どんなふ

うに生活してきたのか。一般社会に帰ってきて、頑張ろうと思っても、小指はないし、やはりキツイですよ。そこでYさんがどんなふう  
に四苦八苦し、まっとうに働くためにどれだけエネルギーを費やしたのか、そして、いつ頃失意の生活に入ったのか。一般社会に戻ってきて壁にぶつかりすぎていると、モチベーションが  
すごく落ちていることが考えられます。もしそうなら、それを引き上げることから始めなければ  
ならない。そのあたりを見極めるためにも、Yさんの生活歴を知ることは重要なんです。

**Bさん** そのあたりは全然聞いていませんでした。

**奥川** Yさんはどんな身なり、雰囲気の方ですか。

**Bさん** 髪は短くて、不精ヒゲなどもなく、清潔感のある人です。

**奥川** 話の筋道は通っていますか。

**Bさん** はい。しっかりしています。

**奥川** だったら、自分から刑務所に入っていたという話をする人ですし、きちっと聞けばきつと答えてくれますよ。ヤクザ稼業の人って意外と率直じゃないですか。

**Bさん** はい。

**奥川** クライアントが生きてきた歴史のなかで、その出来事がどういう意味をもっているのか。そういう意味づけをしながら聞いていくことが大切です。それができて初めて、その情報は生きたものになるんです。

では、このケースの問題の中核、ニーズの発生源は何でしょう。Bさんには、もう見えてい

ますよね。

**Bさん** 生計中心者である父親が亡くなったことでしょうか。

**奥川** そこから始まって？

**Bさん** 息子が頑張ろうと思ったが、現実にはできていない。

**奥川** そう、そこからいろいろな問題が発生していますよね。そして、なぜそうなっているのかを探ることによって、今後の援助方針が考えられるようになるわけです。

**Bさん** はい。よくわかりました。

## ロールプレイで

### 親子の気持ちを追体験する

**奥川** では、ここでBさんが用意してくださった逐語録を使ってロールプレイをしてみましょう。この面接に臨んでいるYさん、Eさんはそれぞれどんな気持ちだったのか。各グループで役を決めてやってみてください。

・4人一組（Bさん役、Yさん役、Eさん役、観察者）となって、ロールプレイを行う。

**奥川** さあ、いかがでしたか。それぞれ感想をおっしゃってください。

#### [Aグループ]

**Eさん役** 私はEさん役をしたのですが、じっと耐えていらっしゃるなという印象を受けました。借金のことについて、Yさんから「どうなんだ」と問い詰められたときなど、ちょっと答えにくい気持ちになりました。



**Yさん役** 私はYさん役をしました。公共料金の滞納はないかという質問に対して「遅れているが払っている」と世帯を代表して答えているように、自分が世帯の中心者であるという自覚をもっていると感じました。

#### 【Bグループ】

**Yさん役** 私もYさん役をしたのですが、同じように世帯を代表して話をしていると感じました。

**Eさん役** 私は、このお母さんはYさんを守ろうという気持ちがあるのではないかと感じました。たとえば、家賃の滞納のことについて、Yさんに話をしなかったのはなぜかと質問されたとき、Eさんは黙っています。これは、収入のない息子に家賃の滞納のことを言えば、息子を苦しめてしまうという親心だったのではないかと思うのです。

それともう一つ、Eさんは孫のことも守ろうとしています。途中で、長女に援助をしてもらうことはできないのかという話が出ると、「子どもが4人いるから無理だ」と言葉をはさんでいます。おそらくこの言葉は間髪入れず発言されたのではないかと思うのですが、孫を守らなければ、という意識を強く感じました。

**奥川** 自分が手塩にかけて育てた孫ですからね。孫というより、子どもみたいな存在なのでしょうね。

**観察者役** そのやりとりを見ていて、娘たちとのつながりは、実の親であるYさんよりEさんのほうがはるかに強い。そして、YさんはEさんを介してのみ自分の娘とつながっているの

はないかと思いました。それと、これは深読みかもしれませんが、全体を通して聞いていて、もしかするとEさんは、主にYさんに答えさせることによって、息子に世帯の代表者としての自覚をもってもらえるよう仕向けているのではないかと感じました。そのために、自分は言葉少なく、必要なことだけを話しているのではないか。

**奥川** いろいろな見方が出てきましたね。では、最後にBさん、今日の感想をどうぞ。

**Bさん** ロールプレイを通じて、自分が非常に事務的に面接をしていると強く感じました。自分の業務として、そのことは必要不可欠なことではあるのですが、もう少しその他の情報もとるべきだったと思いました。たとえば、Yさんが自分から刑務所に入入りしていたという話をしてくれたときにもっと突っ込んで話題をふくらませていけば、過去の生活歴などを無理なく聞いたのではないかと思いました。今後は、貸付けのために必要な情報をとるだけでなく、クライアントの生活全般を支援するという意識をもって仕事をしていきたいと思います。

**奥川** いろいろと発見がありましたね。生活全般を支えるという意識はとても大切です。ただし、Bさん自身の業務範囲の問題もありますので、自分ですべてやろうと思う必要はありませんよ。面接で問題の中核を捉え、このクライアントにはこういう支援が必要だと考える。あとは、それをきちんと言語化して、適宜必要な機関や援助者に引き継いでいけばいいのです。

**Bさん** はい。ありがとうございました。